

都市機能、防災・防犯対策

1. 災害発生時における避難場所・避難所の整備と強化充実

災害発生時において避難場所として指定される公共施設(学校・公民館・公園等)にマンホールトイレ、防災井戸の設置、女性専用の災害用集合トイレの整備拡充を強化すること。また女性、災害弱者に配慮した避難所の運営、ペット受け入れ態勢の整備、紙おむつ、液体ミルク等生活用品の備蓄の強化充実を図ること。

2. 災害発生時における医療機関との連携強化と応援協定の締結推進

災害時に対応した初期医療体制の充実と地域災害医療コーディネーターの設置など、医療機関との連携を深め、機能強化を図ること。また応急、復旧活動に対する人的・物的な支援体制として、自治体間のほか、民間を含めた相互応援協定などによる連携の強化充実を図ること。

3. 震災に強いまちづくりの推進

緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を進め、建築物の倒壊による道路閉塞を防止し、震災時における避難、輸送ルートを確保すると共に、多くの市民が利用する民間建築物の耐震化の促進に取り組むこと。

4. 既存公共施設の耐震化及び、長寿命化の推進

身近な公共施設である、公民館等の耐震化、ポンプ場の耐震化、上下水道を始めとするインフラの耐震化、更に橋りょうを始めとする道路ストックの長寿命化について、より一層推進すること。

5. AI・IoT を活用した防災、危機管理体制の高度化

AI・IoT を活用し、応急対策活動に必要な情報(被災状況、支援ニーズ等)を国や県、他の自治体間においてシステムで連携し、リアルタイムに共有することにより、大規模災害時の広域応援がスムーズに図れるよう、国や県に働きかけを行うこと。防災・危機管理体制・業務に関する計画などについて電子化・共有化することによる高度化を図ること。

6. 警察署の新設と防犯体制の強化充実

新たな警察署の設置と川口市内の警察官の増員を引き続き県警本部に要望すること。また、防犯カメラを駅周辺、商店街、公園等の公共施設、通学路、交差点などに増設し、さらに町会・自治会に対する設置補助制度を継続し、商店会に対しての防犯カメラの設置補助も同時に行うなど、防犯体制の強化充実を図ること。

7. 交通安全対策の強化充実

ゾーン30のエリア拡大、路側帯、自転車通行空間の整備拡充、歩道バリアフリー化の強化及び、危険交差点の把握と安全対策の推進、自転車安全指導の実施、交通安全対策の強化充実を図ること。

8. 消防力の強化充実と地域防災の向上推進

市民の生命と財産を守る消防力・減災力の強化充実に向け、平時の防火・防災意識の醸成、災害発生時の迅速な消火・減災体制を高めるため、消防職員の増員、消防資機材の高度化についてはもとより、自主防災組織の、組織率向上及び、消防団の環境整備の推進に取り組むこと。

9. 住宅密集市街地における都市基盤整備の推進

住宅密集市街地である住宅市街地総合整備事業地区や芝中央地区の未着手状態となっている土地区画整理区域について、災害時に対応できる安全・安心な都市基盤整備の推進を図ること。

10. 旧鳩ヶ谷市民プールの跡地の有効活用

旧鳩ヶ谷市民プールの跡地の有効活用について、防災機能を備えた市民ニーズに沿った施設整備を検討すること。

教育対策

1. 日本の美しい歴史と伝統文化を伝える道徳教育の充実

日本の美しい歴史と伝統文化の良さを学び、郷土を愛する心を育むとともに、生命の大切さ、他人を思いやる心を身に付ける道徳教育の充実に努めること。

2. いじめ根絶に向けた取り組みの強化

議員提案により制定された「川口市いじめを防止するためのまちづくり推進条例」を適切に運用し、いじめから子どもたちを守るための施策を推進すること。

3. 川口市立高等学校の更なる取り組み

中高一貫教育への準備と2020年から始まる入試改革に合わせ大学進学率の向上を目指すとともに、スポーツ面においては全国に通用する部活動の強化に取り組むこと。

4. 特別支援学校、特別支援学級の充実

市内に在住する肢体不自由および視覚障害者の児童生徒が通える特別支援学校（盲学校）の新設を目指すこと。また、市内小中学校の特別支援学級拠点校の目標値（市内小中学校の50%）を早期に達成し、さらに子どもの健やかな成長のための環境を整備すること。

5. 発達障害や不登校に悩む児童生徒への取り組み

発達障害や行動上の課題を抱えている児童生徒のための通級指導教室を市内に拡充すること。また、不登校の児童生徒へのサポートとして適応指導教室の拡充や学校サポートを充実させること。

6. 学力・体力向上に向けた取り組み

学習支援員の増員や、夏期の補習授業の充実等、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを進めるとともに、児童・生徒が学習に集中できる環境づくりを進めること。また、授業を通じ、運動好きな児童・生徒を育成すること。

7. 外国籍の児童・生徒に対する教育の充実

日本語指導が必要な外国籍の児童・生徒に対する指導支援に努めること。

8. ICT を活用した教育の推進

Society5.0 に向けて、子どものうちから環境に慣れ、未来の担い手となるために、タブレット PC や大型提示装置などを活用した ICT 教育を推進すること。

9. 総合スポーツ施設の整備と充実

国際基準を満たした県立スポーツ施設の誘致と既存施設の計画的な整備及び更新を推進すること。誰もが親しむことのできる生涯スポーツ社会を実現させ、地域コミュニティの拠点としてのスポーツ施設の充実に全力で取り組むこと。

保健・福祉対策

1. 高齢者のひとり世帯等への支援強化

配食サービス、緊急通報システムへの関与など高齢者の見守りに積極的に取り組むこと。

2. ひとり親家庭と子どもへの支援体制の強化

ひとり親家庭や子どもへの支援体制を強化し、子どもの貧困対策に努めること。

3. 医療、福祉等の施設の充実

本市の特性を活かした地域包括ケアシステムの構築・運用に取り組み、居宅サービスと施設サービスのバランスに配慮しながら介護・高齢者・障がい者施設等の、必要な量の確保とサービスの質を高め、より一層充実を図ること。

4. 川口市立医療センターの地域医療連携体制の充実

地域医療支援病院・高度急性期病院としての機能を強化し、必要な医師の確保に努め、救急医療体制・診療体制の迅速化を進めるべく医療センターの充実を図ること。待ち時間の短縮と断らない救急体制、窓口対応の質の向上を図ること。

5. 市保健所の適切な運営と小児夜間救急医療体制の充実

保健衛生行政について総合的、かつきめ細やかなサービスが効果的に提供できるよう、市保健所を適切に運営すること。

また、子どもの急病時にも安心して医療が受けられるよう、小児夜間救急医療の体制整備と適正な運営に努めること。

6. 口腔保健センターの設置推進

保健所機能の鳩ヶ谷庁舎移行時に合わせて、安全で安心して利用できる口腔保健センターの設置を目指すこと。

7. 健康ポイント制度を用いた市民の健康増進への取り組み推進

健康寿命の延伸を目指し、健康ポイント制度の有効利用のためにポイントのキャッシュレス化を推進すること。

8. 子育て・保育環境の更なる充実

待機児童解消に向け、施設整備を推進し保育定員の拡充を図ること。認定こども園移行への支援や保育士等の人材確保に努めること。

9. (仮称) 子ども発達相談支援センターの適正な運営

複雑化・深刻化する子どもに関する相談が増加傾向にある中、相談内容の多様化する「発達相談・療育」を支援するための「(仮称) 子ども発達相談支援センター」の適正な運営に努めること。

10. 火葬施設「川口市めぐりの森」の適正な運営

市民の利便性に配慮し施設を適正に運営すること。

11. 救急車の適正利用に向けた施策の構築

救急搬送された方の半数以上は軽症であり、緊急性の高い重症患者の治療に支障を来してしまうおそれがある現状を鑑み、埼玉県救急電話相談、全国共通ダイヤル「#7119」を利用して、急な病気やけがの際に、家庭での対処法や受診の必要性について、24時間365日、看護師に電話で相談することが出来ることを広報するなど、救急車の適正利用の呼び掛けを行うこと。

人権・コミュニティ対策

1. 男女の区別なく、障がいのあるなしによらず誰もが生きがいを持って暮らせる環境整備

男性も女性も、障がいのある人も区別なく生きがいを持って暮らせる社会環境を整備すること。

2. 三世代ふれあい事業など世代間交流推進

三世代ふれあい事業の実施、および子どもたちがボランティアに参加できる活動を推進すること。

3. 拉致問題解決に向けた取り組みの強化

拉致問題の早期解決のためイベント及び周知・啓発活動を推進すること。

4. 市政への関心を高めてもらう施策（情報提供システム）の推進

市からの情報提供システムをさらに充実させること。

5. 友好都市の締結

国内外の都市間交流を深め、幅広く視野を広げるとともに、さらなる特徴ある川口を目指すこと。

6. 深刻化するDV・児童虐待等への対応の強化

深刻化するDV・児童虐待等に関する相談に対して、関係機関と連携し、被害者の自立に向けた相談体制および早期発見・早期対応を強化すること。

7. 多文化共生の推進（外国人との共生社会の実現）

外国人との共生社会の実現に向けた政策の整備を進めること。

8. 誰にでもやさしいまちづくりの推進

道路・橋梁、公共施設等インフラのバリアフリー化を推進するとともに、市内事業者と協力・連携し、「あいサポート運動」やヘルプマークの周知など全市的な取り組みを推進すること。

環境対策

1. 第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略の推進強化

再生可能エネルギー利用の推進、省エネルギーの推進などに取り組み、エネルギーリスクに強い、持続的な市民生活の実現を目指すこと。

2. 環境負荷の少ない交通の推進

環境負荷の少ない自動車等の利用を促進すること。

3. 3R活動のさらなる推進

現在本市で取り組んでいる3R運動、「リユース（再使用）」、「リデュース（排出抑制）」、「リサイクル（再利用）」を市民に幅広く周知し、循環型社会のさらなる充実を目指し、廃棄物の減量化を推進すること。

4. 地球温暖化防止への対策と支援の充実

市として遮熱性舗装の整備を推進すること。さらに、市内から排出される温室効果ガスを着実に削減するため、市民の再生可能エネルギー等の利用促進を図るとともに、家庭での省エネルギー効果に有効なゼロエネルギーハウス（ZEH（ゼッチ））等についても支援、拡充を目指すこと。

5. 資源ごみ持ち去りに対する対策の強化

資源物持ち去りに対し、警察と協力して取り締まりを強化すること。

6. 不法投棄に関する監視強化

不法投棄常習場所に対し、見回りや防犯カメラを設置するなど監視を強化すること。

7. 川口市の自然環境保護の強化

生物多様性の保全について広く周知し、自然環境の保護に努めること。

経済対策

1. NHK跡地活用とSKIPシティの活性化

SKIPシティの未利用地であるB街区とNHKが所有するC街区の土地交換について、新たに整備されるNHK施設の詳細を踏まえ、賑わいのある場所として活用できるように交通部門を充実させ、周辺地域の活性化に向けて活用策を検討すること。

また、国際Dシネマ映画祭のさらなる充実・発展のため、その魅力について、国内外への情報発信を強化すること。

さらには、未利用地を集客力のある場所として活用できるように検討し、交通網等を充実させ周辺地域の活性化につなげること。

2. 中小企業・小規模事業者への支援策の充実

市内中小企業者の公共工事受注機会の拡大を推進するとともに、(議員提案である中小企業振興条例をもとに)中小企業者や小規模事業者の安定的な経営に向け、事業継承対策やAI・IoTの導入支援等、時代に合った施策を検討すること。

さらには、技能検定等の手数料助成やコンサルタント派遣事業等、雇用促進・人材確保や人材育成に繋がる支援を推進すること。

3. 「川口ブランド」の創出・発展

川口で生み出された技術や製品などの「川口ブランド」を創出・発展させるために、商業・工業・農業関係者と連携して新たな技術や製品を開発するとともに、市産品フェアで「川口ブランド」を国内外に積極的にアピールするなど、市内産業の振興に取り組むこと。

4. 商店会活性化策の充実

特色のある商店会となるよう様々な施策を検討するとともに、商品券事業や川口ポイント事業等による商店会の活性化策を充実させること。

5. 新産業の促進と企業の誘致

新しい取り組みをしようとする起業者を支援すること。

雇用の創出や法人税収の確保など企業誘致には様々な相乗効果が見込めるため、積極的に企業誘致が進むよう対策を検討すること。

6. 産業・文化・歴史を観光資源とした誘客事業の推進

川口へ県内外から多くの方々に訪れてもらえるよう新たな観光資源を発掘・開発するとともに、情報発信の強化を図るなど、誘客事業の推進に取り組むこと。

7. 緑化事業の推進

川口が人と自然と産業が調和する緑豊かなまちとなるように、現在ある貴重な水と緑を大切に保全・活用するとともに、新たな緑を創出する事業に取り組むこと。

8. 都市農業の活性化

伝統ある元気な農業が、50年後もしっかりと息づいた「農が誇れるまち川口」を目指すため、川口農業ブランド認定制度を活用し、販路拡大を図ること。

また、市街化調整区域の環境や農地等を活かし、農業振興に資する農家レストランの設置など都市農業の活性化のための積極的支援体制の整備を図ること。

9. 観光資源の活性化

首都圏初である道の駅「川口・あんぎょう」や緑化センター「樹里安」、新たに設置された赤山歴史自然公園「イイナパーク川口」を、さらに魅力ある施設として整備し、集客を図ること。また、老朽化したグリーンセンターの施設の改修を早急に行うとともに、集客力向上のための特色ある整備を推進すること。

10. 市民の安全・安心と市内建築業の活性化に資する住宅改修資金助成制度の拡充

市内施工業者への発注促進により、市内消費を喚起することに加え、個人住宅の居住環境と安全性の向上を図るため、同制度の拡充に努めること。

市民生活対策

1. 川口駅の輸送力強化と利便性向上

長年にわたるJR東日本や国などへの働きかけをさらに強め、湘南新宿ライン等の中距離電車の川口駅停車、併せて駅舎の建て替えを実現し、利便性・安全性の向上を目指すこと。

2. 東川口駅へのホームドア・防風雨壁の整備

整備が完了した川口駅・西川口駅に加え、東川口駅においても早期にホームドアの整備を目指すこと。さらに、同駅ホームに防風雨壁の設置を推進すること。

3. 地域公共交通ネットワークの推進

コミュニティバスのさらなる利便性向上に取り組み、利用率の向上を図ること。新交通システム導入も視野に入れた公共交通網体系の再構築を推進し、交通不便地の解消に努めること。

4. ノンステップバスの整備促進

高齢者や障がい者の自立・社会参加の一助となる路線バスのバリアフリー化を推進するため、ノンステップバスの整備促進を図ること。

5. 鳩ヶ谷駅・SKIPシティ間での自動運転バスの実証実験走行の実施

近未来技術である自動運転を活用し、実証実験を鳩ヶ谷駅・SKIPシティ間で実施し、公共交通の維持、改善等の課題解決を図ること。

6. 東川口駅前に行政センター（子育て支援センターを含む）の設置

戸塚地区の人口増に伴う市民ニーズに 대응するため、子育て支援センター機能を有する駅前行政センターを設置し、市民のさらなる利便性向上を図ること。

7. 郊外地域における都市基盤整備の推進

土地区画整理事業の進捗率、及び下水道普及率の向上とともに、地震災害に備えた耐震性水道管の整備に努めること。

8. 都市型水害対策と河川改修の促進

河川改修や雨水貯留管の設置などの対策を進めるとともに、被害軽減を目指した水害時の情報提供方策、広報・啓発対策等の「水害危機管理対策」を推進すること。

9. 地域コミュニティ政策の推進

自民党を中心とする議員提案の『川口市町会・自治会への加入及び参加の促進に関する条例』を基軸として、地域コミュニティの輪を広げる施策を推進すること。

10.本市の文化・芸術の発信拠点の整備

本市固有の風土や歴史、そこで培われた産業や文化を守り伝え、今を生きる人と人、人と文化、文化と産業とが交流する美術館の整備を目指すこと。

行政と議会

1. 市税等歳入確保の取り組み強化

市民サービスの充実と負担の公平性を確保するため、国民健康保険税を含む市税や介護保険料など、収納率のさらなる向上に努めること。また、使用料や貸付料など債権の管理を適正に行い、未収金の回収に努めること。

2. 財政状況の「見える化」

ICT による公会計システムを活用して、効率的な財政運営を推進するとともに、財政状況の「見える化」により、市民への説明責任を果たすこと。

3. 公共施設を対象とした施設マネジメントの推進

市が保有する土地や建物・設備など将来にわたる安全性を確保するために、施設等の長寿命化を図り、更新を迎える施設においては、他の施設との複合化や効率的な維持管理を推進して財政負担の軽減を図ること。